

帯広YEG
第2分科会活動報告

2008. 2. 14

第2分科会

分科会設置の趣旨

帯広商工会議所は、都市の顔である中心市街地の活性化に取り組んでいます。我々帯広商工会議所青年部(以下、帯広YEG)でも、長年にわたり中心市街地活性化についての調査・研究、あるいはイベントなど実施してきました。が、どの地方都市でも苦しんでいるように活性化に対する決め手、即効薬はないのが現状です。

平成18年度の「街づくり委員会」では、帯広畜産大学の教授や学生など連携し活性化に関する議論を進めました。こうした取り組みの中から、帯広YEGがもっと幅広い外部の団体や個人との関係を築き、かつ、彼らを結ぶコーディネーター的な役割を果たしていくことで、活性化に資する活動を展開できるのではないか、との趣旨から当分科会は設けられました。

分科会メンバー構成

<代 表>

和田 郁夫

<副代表>

森 房明、岩田 博樹

<メンバー>

**小林 将伸、塩崎 芳也、工藤 大輔、齊藤 基、廣富 栄一、
梶野宗一郎、望月 弘靖、権藤 剛宏、池田 純寛、武田 隆仁、
堀口 博司、田中 悟**

分科会開催事跡

回	開催日	開催場所	内容
第1回		猛牛亭	メンバー顔合わせ
第2回	5. 11	かじのビル	分化会活動内容について
第3回	6. 5	かじのビル	分化会活動内容について
第4回	7. 17	かじのビル	分化会活動内容について
第5回	8. 28	会議所	仙北谷畜大准教授、千枝中心市街地活性化協議会会長を招いての勉強会
第6回	9. 28	会議所	中心市街地商業者意識調査アンケートの内容精査
第7回	10. 30	会議所	木川帯広市都心振興課主査を招いての勉強会 中心市街地商業者意識調査アンケートの内容精査
第8回	12. 7	会議所	中心市街地商業者意識調査アンケートの配布、回収打ち合わせ
第9回	2. 7	AT 電子会議	2月定例会「分科会報告」資料確認

第2回会議での意見抜粋

■意見1

「まずは勉強したい」

何を⇒中心市街の問題点、課題、今後の展望など。帯広市中心市街地活性化基本計画は今後どのように進むのか。

対象は⇒帯広市役所、帯広商工会議所、中心市街地活性協議会、大学教授 など

■意見2

「中心部で商売をやっている人たちと色々な話がしたい」

何を⇒問題点、展望、利権など

対象は⇒個人商店主、帯広市商店街振興組合連合会、帯広平原通商店街振興組合、帯広広小路商店街振興組合 など

■意見3

「中学生や高校生と話をしてみたらどうか」

何を⇒何があれば中心街に行くか、街の魅力は。

対象⇒市内の中高生

■意見4

「20代、30代の世代や主婦の意見を聞く」

何を⇒何があれば中心街に行くか、街の魅力は。

対象⇒20代、30代の世代や主婦

■意見5

「中心街に責任を持つ人を増やす取り組みはどうか」

どうやって⇒中心市街地活性化連絡協議会、ホコテン実行委員会 などとの連携

第3回会議での意見抜粋

■外部の人を呼んで話をするにしても目的をはっきりさせることが必要

⇒何を知りたいのか、YEGとして何を話しするのか

■勉強する

⇒どういう街にしたいのか、市の策定している計画に乗っていくのか、YEGとしての立ち位置の確認

■中心街で商売している人達と話しをする

⇒課題、問題点の抽出し、行政にぶつける

■外部の人と話をする

⇒全く新しいものが入ってくるような発想(畜大の学生など)

■青年部としての中心街活性化のための考え方の柱とは？

⇒人が集まる街(人が来なければ商売の繁盛はない)

■街が活性化するにはどういう状況をさすのか

⇒①商売がうまくいっている②人が来る③色々なものがある、色々なものが買える、色々なことができる④
儲けだけではない愛のある街

■具体的テーマをどうするか

⇒①中心市街地の人達と話をしてでも発展性がない②今までの取り組みの検証をしてみてはどうか

■街のあり方の検証

⇒昔の街＝買い物する街、今の街＝情報、人が集まる空間、商売で人が集まるのではない、人が集まることで売る努力をする

■イベントを実施してはどうか

⇒七夕、平原まつり、ホコテンに相乗りの形で

第4回会議協議抜粋

■第1～第3回までの会議踏まえて

- ① 外部の人を呼んで話をするにしても目的をはっきりさせることが必要。何を知りたいのか、YEGとして何を話しするのか。
- ② どういう街にしたいのか、市の策定している計画に乗っていくのか、YEGとしての立ち位置を確認すべきではないか。
- ③ 中心街で商売している人達と話しをすることで、様々な課題、問題点が浮かび上がってくるのではないか。
- ④ 前年度の畜大の学生との議論もそうだったが、外部の人や学生、主婦と話をするすることで、全く新しい発想も生まれてくるのではないか。
- ⑤ 青年部としての中心街活性化のための考え方の柱とを明確にするべきではないか。人が集まる街、人が来なければ商売の繁盛はない。
- ⑥ 街が活性化するとはどういう状況をさすのか、①商売がうまくいっている②人の往来のある街③色々なものがある、色々なものが買える、色々なことができるーに加え「儲けだけではない愛のある街」というキーワードも重要ではないか。
- ⑦ 活動の具体的テーマをどうするか、中心市街地の人達と話をしててもテーマは見えてこないのではないか、むしろ、今までの取り組みの検証をしてみてもどうか。
- ⑧ イベントを実施してはどうか、七夕、平原まつり、ホコテンに相乗りすれば相乗効果も期待できるのではないか。

■上記から検討した次回会議

当分科会では、前掲のと通りの議論を重ねてきた結果、まずは、外部機関の方々との対話の場を設け、中心市街地活性化の課題に対し、我々青年部に①何を期待しているのか②何をすべきかーなどについて忌憚のない意見を聞いてみることにした。

第5回会議「仙北谷畜大准教授」の講話抜粋

1. 帯広の街に何が足りないか

郊外に店はたくさんあるが、中心部としての商業活動の層が薄い、帯広の中心部には十勝36万人の地域で帯広中心部の役割があるはず

2. 中心部に求められる機能とは

中心部に求められる機能として、従来は商業機能が求められてきたが、最近の傾向として、商業のほかに「住」「文化」「イベント」など多面性も求められているのではないかと。

3. 中心部活性化の必要性の正当性とは

ホコテンなどの動きがでてきているが、これひとつとっても市民意識の共有が図られていないのではないかと、たとえば、市内の他の商店街からは「なぜ中心部だけに公的資金を投入するのか」といった反対意見もある。しかし、都市の顔として、中心部でしか味わえないショッピングや商業サービスの提供があれば、中心街に対しお金を使う正当性が強くなる。

4. 中心部に求められる商業機能

日常的に必要な物は効率的に買い物できることが望まれ、これは、郊外の大型店が適している。しかし、買い物の形態には単に効率的買い物だけではなく、①お店の人とディスカッションする買い物②じっくりと時間をかける買い物③レジャーとして楽しむ買い物(ウインドウショッピング)、などがあり、これこそが中心部に求められている商業機能ではないかと。

5. 上記を踏まえ青年部がすべきこととは

青年部としては、単にホコテンのようなイベント実施の行動を起こすのではなく、青年経済人として①商業者の意識や考え方を掘り起こし②まとめて③情報発信していくことが重要。青年部の中心市街地活性化に対する役割は「調査」と「検討」ではないかと。このことは、ホコテンでやっていないこと。

第6回会議「中心市街地商業者意識調査」について協議①

第5回会議の仙北谷准教授の提案から、中心市街地で活動する商業者対象の意識調査を実施することで協議。調査内容は下記のとおり。

■調査対象

調査は、中心市街地活性化基本計画の施行エリアとなる下記の10組合、384の加盟会員を対象に実施。

商 店 街 名	会 員 数
平原通商店街振興組合	56
広小路商店街振興組合	43
大通商店街振興組合	33
東銀座商店街振興組合	36
栄通商店街振興組合	39
西一条中央商店街振興組合	50
名門通商店街振興組合	57
駅前東商店会協働組合	29
北平原通商店会協働組合	19
都通振興会	22

第6回会議「中心市街地商業者意識調査」について協議②

■調査シート内容

1. 商業者の属性調査について

- ①創業年
- ②代表者年齢
- ③後継者の有無
- ④自社物件か賃貸物件か
- ⑤中心街の可能性

2. 街中でのイベントについて

- ①イベントの必要性
- ②ホコテン実施の効果
- ③ホコテン実施の際の取り組み
- ④ホコテンの必要性

3. 中心市街地活性化基本計画(中活計画)について

- ①中活計画の理解度
- ②同計画への期待度
- ③行政への要望

■調査期間、方法

平成19年12月11日から各商店街に配布し、本年1月20日までに回収。

帯広YEG

「中心市街地を考える」

アンケート 集計結果

表記アンケートを10組合、384の加盟会員を対象に実施した結果、**82件(回収率22%)**の商業者から回答が寄せられた。

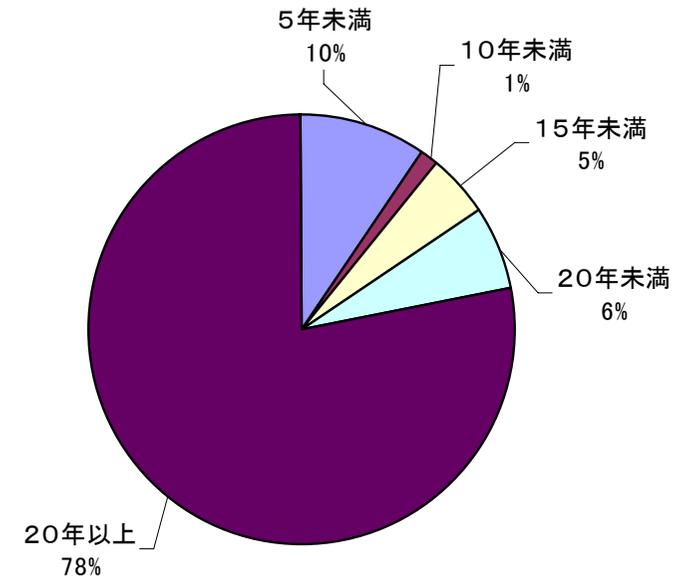
集計結果は次ページから



問1. 御社は創業から何年ですか

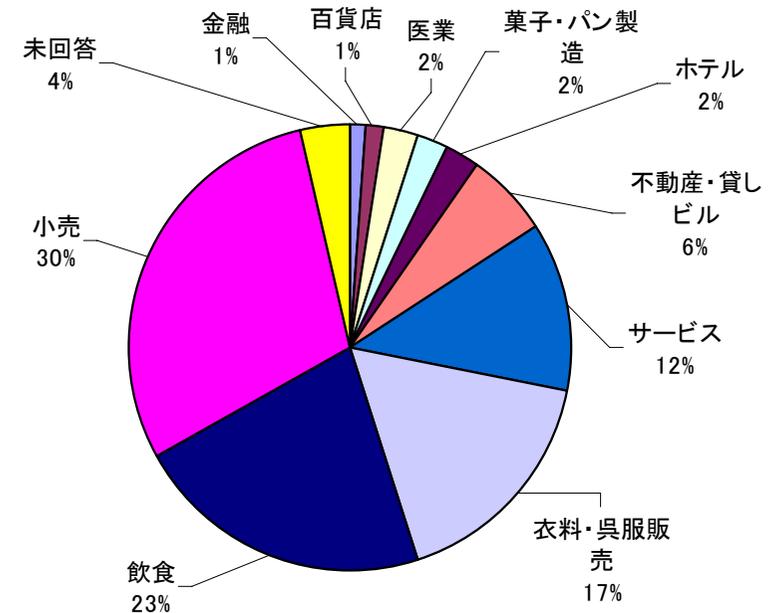
5年未満	8
10年未満	1
15年未満	4
20年未満	5
20年以上	64

20年以上が全体の8割を占め、老舗が多い実態が浮かぶ。一方、5年未満が10%と新規創業の可能性を探る上での尺度となりそうだ。



問2. 御社の業種についてお答えください

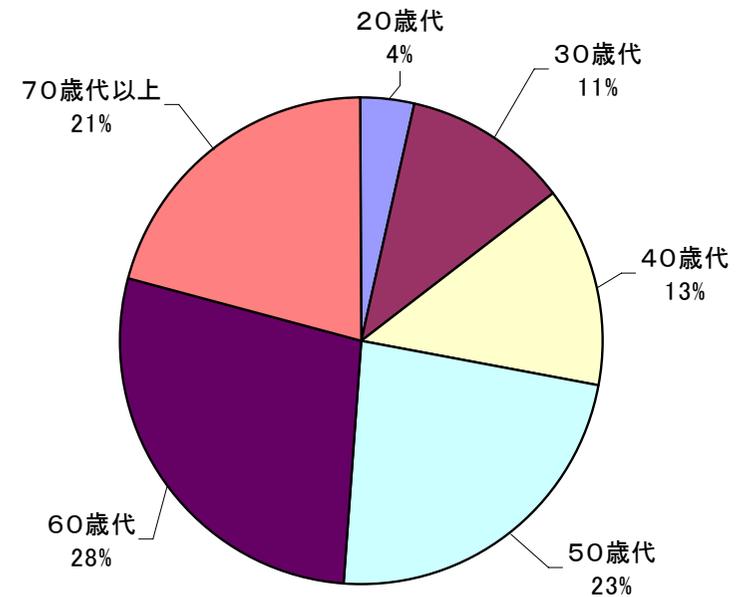
金融	1
百貨店	1
医業	2
菓子・パン製造	2
不動産・貸しビル	2
ホテル	5
サービス	10
衣料・呉服販売	14
飲食	18
小売	24
未回答	3



問3. 代表者の方の年齢はおいくつですか

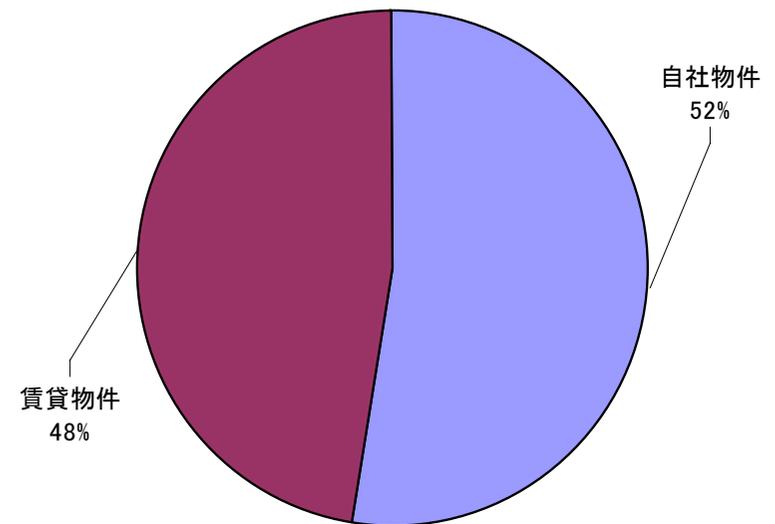
20歳代	3
30歳代	9
40歳代	11
50歳代	19
60歳代	23
70歳代以上	17

50歳以上の代表者が全体の72%を占め、ここにも高齢化を垣間見ることができる。
40歳以下の商業者を増やすことが、今後の中心部活性化の鍵となるのではないか。



問4. 御社の店舗物件について教えてください

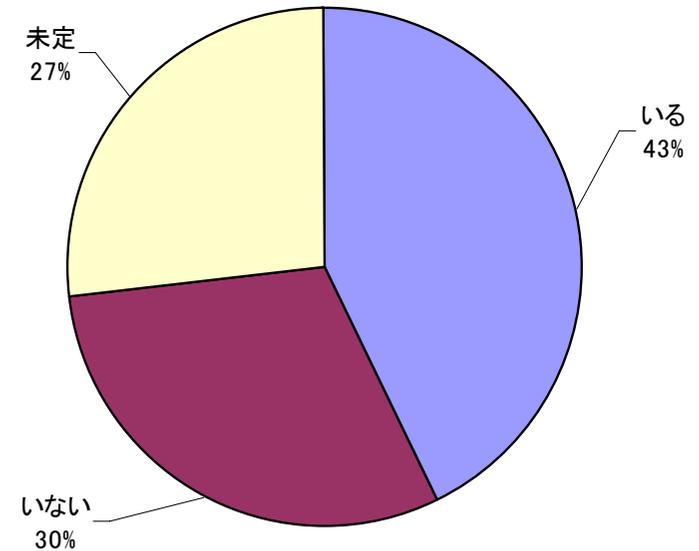
自社物件	43
賃貸物件	39



問5. 御社に後継者はいますか

いる	35
いない	25
未定	22

後継者について「いない」「未定」が6割を占める。深刻な後継者不足を表す数字といえる。



問6. 後継者が「いない」「未定」と回答した方の、今後の展望ほか

- 代替わりしたばかり(2)
- 子どもが小さく見通しが立たない
- 具体的考えなし(17)
- 自分たちが年齢的に無理になったときは廃業(1)
- 子どもたちのうち誰かが継ぐ(1)
- 後継者の意思次第(3)
- 検討中(2)
- 適任者がいれば(1)
- あと10年は現役でやり、その間、後継者を育成する(1)
- 会社を継ぐ意志と能力があれば、血縁関係なく譲る(1)
- 将来、小売店の繁栄は望みが薄い(1)
- 日本の服装文化を守るため、業界全体で努力している。地域経済が豊かになれば、生き残れる特殊技能であり、若年者に魅力ある業種となるよう精進する(1)

※()は件数

問7. 中心市街地で事業をしている理由をお聞かせください

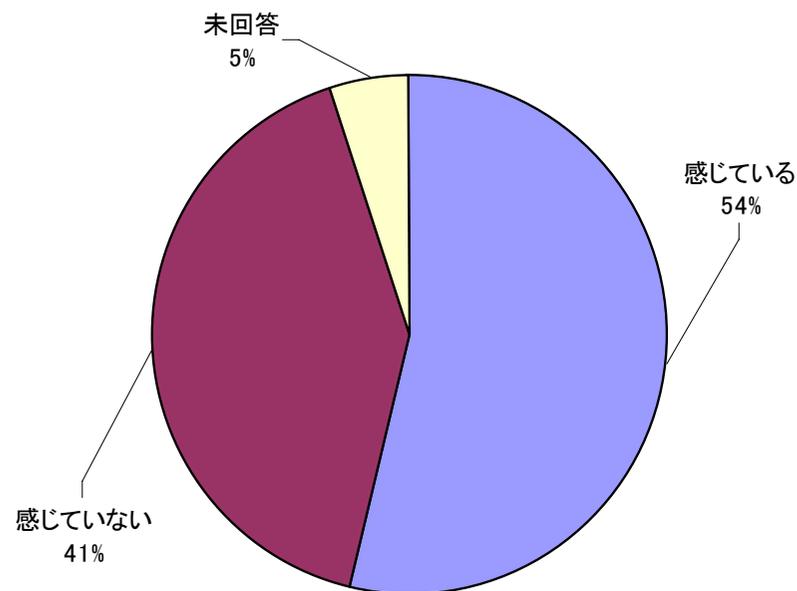
- 創業以来続けているから(12) ■引き継いだものだから(11) ■長い間、同じ場所で営業しているから(9)
- 路面では今の場所が一番だと思っている(1) ■飲食店舗が増加し、新しい客が増え、郊外より魅力がある(1)
- 長年のお客がたくさんいるから(1) ■帯広の中心街で商売することに誇りを感じているから(1)
- 客足を考えて(1) ■駅、バス停が近いから(2) ■自社物件だから(1) ■地域貢献(1) ■来院者の足の便を考慮して(1)
- 土地を所有しているから(1) ■駅を中心に人が集うから(1) ■高齢者がバスで移動できるから(1)
- 人がいるから(1) ■店舗、立地条件がいいから(2) ■集客性、利用者が便利だから(6) ■帯広中心だから(1)
- 中心の活性があつてこそ発展するから(2) ■街中のお客に必要なだから(1) ■ファッションなどは中心街が適しているから(1)
- 自分が希望する商売として成り立つから

※()は件数

問8. 中心市街地での事業継続に可能性を感じますか

感じる	44
感じない	34
未回答	4

半数以上が中心街での事業継続に可能性を感じている。今後、この意識をさらに向上させるような施策の実施が、中心部の活性化の鍵になると思われる。



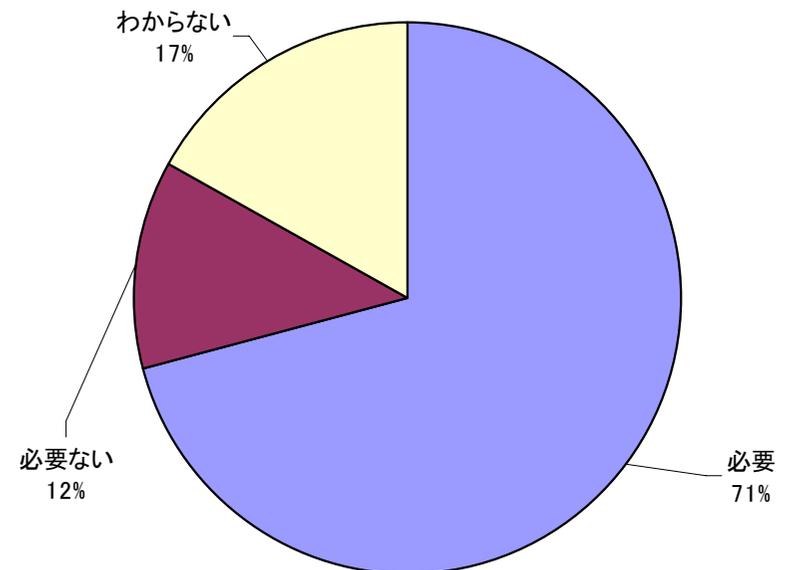
問9. 中心市街地での事業継続の可能性を感じている理由は

- 中心部は街の顔、このまま衰退一方ではない(1) ■この場所で、この業種が必要だから(2)
 - 色々なイベントを開催することで、数多くの人が集まると思う。マンネリにならないことが重要(1)
 - 中心街は街の「へそ」であり、常に活性しながら発展させなければならない(1) ■駅、玄関口は中心部だから(1)
 - 交通網等、利便性で優れている所はまだある(3) ■都心回帰の傾向があるから(4)
 - 少子高齢化や人口減少でコンパクトシティが求められているから(2) ■活性化事業に期待しているから(2)
 - 中心街に売上げに関係なく、人が集まりにぎやかになることが望ましい(1) ■ホコテンが行われていることで活性化している(1)
 - 衝動買いする商品を扱っていないため(1) ■酒を扱っている業種で、郊外より有利(1) ■固定客を大切にしたいから(1)
 - 得意先が中心部に多いから(1) ■ホテル業は駅前立地がベスト(1) ■自社物件を活用できるから(1)
 - ビジネスマンが利用するホテル等が増加しているから(1) ■商工会議所青年部の活躍(1)
 - 商店街として、中心市街地として、みんなで協働し賑わいを演出していく ■中心なくして外の発展はないから(2)
 - 帯広の街の顔として、買い物場やコミュニケーションの場を作っていく動きがあると信じているから(1)
 - 中心的役割を果たしてきた市街地が砂漠化することは市民に恥、消費者の自覚を促すことはもとより効率的な商店街にしたい(1)
- ※()は件数

問10. 中心市街地でのイベントは必要ですか

必要	58
必要ない	10
未回答	14

6割が必要と回答。中心市街地でのイベント実施の依存度が高いことがわかる。

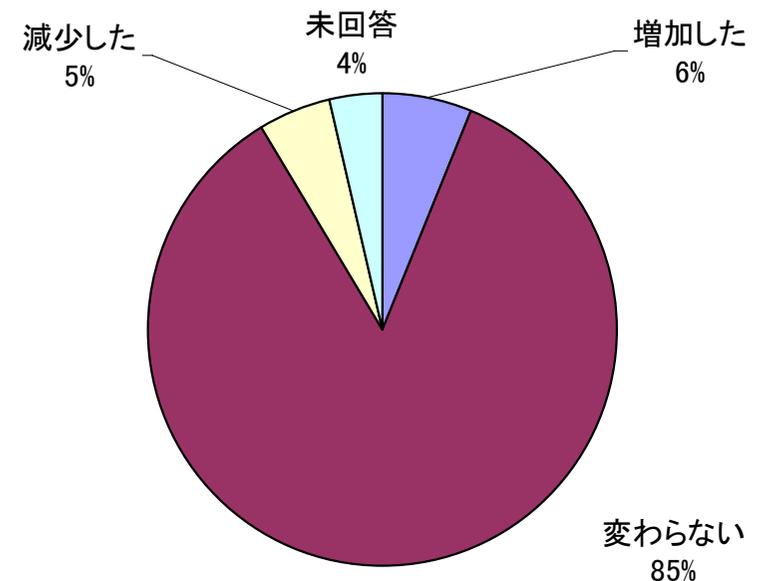


問11. 今後の事業展開で考えていることはありますか

- 新店舗(1) ■本業に専念すること(1) ■店舗に依存しないネット販売(1) ■あります(3) ■特にない、考えていない(20)
 - おいしいお菓子を喜んで買っていただく努力(1) ■氷まつりの第2会場を中心街にもってくる(1)
 - 平原通のみの行事ではなくもっと幅広い行事にする(1) ■駐車場の確保(2)
 - ホコテンとの連携(1) ■お客の休憩スペースを設ける(1) ■核となるアンテナ的シュップを展開させる(1)
 - 環境に配慮した店づくり、子どもたちが十勝を学べる店づくり(1) ■札幌への移転(1)
 - 市民によるこんでもらえるイベントや回遊性のある歩行者天国の実施。商店にもメリットのある組織的な逸品販売運動(1)
- ※()は件数

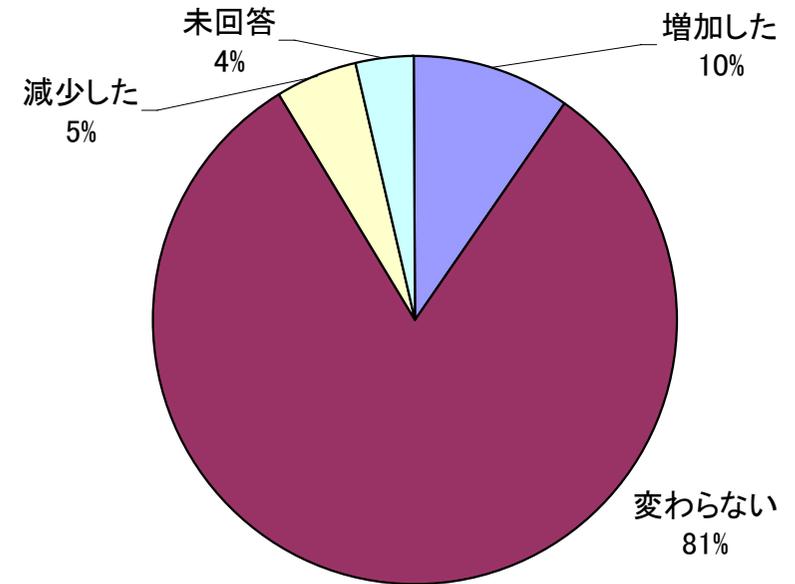
問12. ホコテン開催で売上げは変わりましたか

増加した	5
変わらない	70
減少した	4
未回答	3



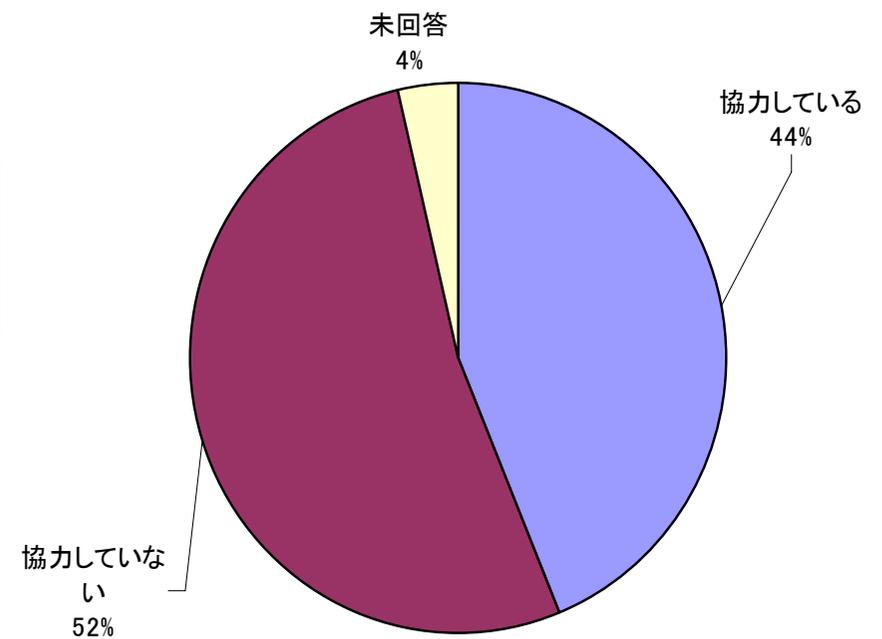
問13. ホコテン開催で来店者数は変わりましたか

増加した	8
変わらない	67
減少した	4
未回答	3



問14. ホコテンに協力していますか

協力している	36
協力していない	43
未回答	3



問15. ホコテンによるメリット、デメリットはなんですか

<メリット>

- 街に足を運ぶモチベーションとなる(1)
- 街中に人がたくさん来たこと、来客の増加(12)
- 街がにぎやかになる(13)
- 人がたくさん来ることで店を知ってもらうきっかけとなる(1)
- 昔のお客様が来てくれた(1)
- 人の交流が増加した(1)
- 子どもたちが増えた、特に馬車は人気だった(1)
- 個店の努力の必要性を認識(1)
- 中心街のイメージアップ(1)
- ホコテンの魅力が市民に広がり、街に人出が多くなるきっかけとなる(1)
- 街中の魅力を発見し、帯広に住んでいる誇りを持ってもらえる(1)
- 市民が楽しめる街中イベントは大事、課題は広小路や大通りと輪を広げること(1)

<デメリット>

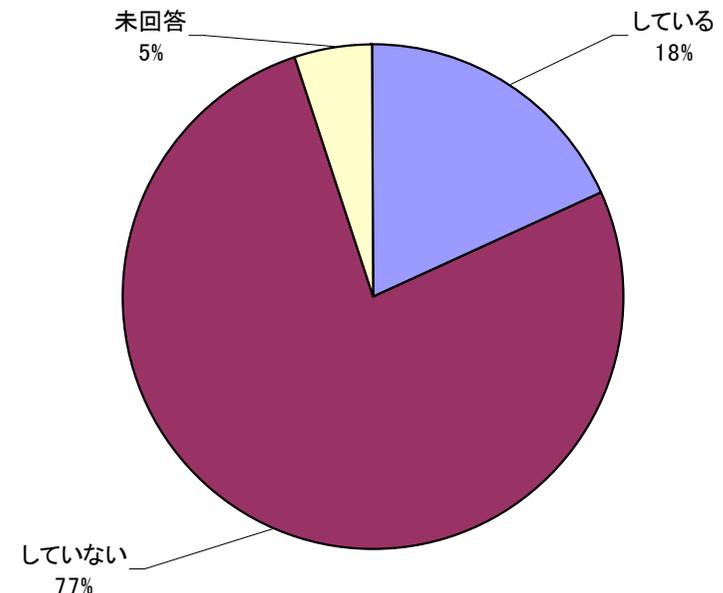
- 1街区だけで行われている、もっと広げては(2)
- 営業時間が違いメリットはなかった(1)
- ゴミがひどい(1)
- 遊びに来る人は買い物をしない、買い物に来た人には少し落ち着かない(1)
- 休憩場所としての利用が多い(1)
- 駐車場が使えないイメージがあり、ホコテン時に固定客が店に近寄らない(1)
- バスが遠回りになる(1)
- 交通の便が悪くなった(4)
- 交通規制で客が減少(2)
- 配達業務の遅れ(1)
- イベントのためのイベントになっている(1)
- 中心部以外の商業者の経費負担(1)
- 運営協力負担(2)
- 時間的、空間的に無理がある(1)
- 正体不明の店が多い(1)

※()は件数

問16. ホコテン開催時、売り上げ増つながら工夫をしていますか

している	15
していない	63
未回答	4

「していない」の中に、休日、営業時間が夜などの理由を挙げる回答が数多く見られた。ホコテンの活用法については、個々のアイデアや判断も必要だが、組織的に連携した取り組みが求められているのではないか。



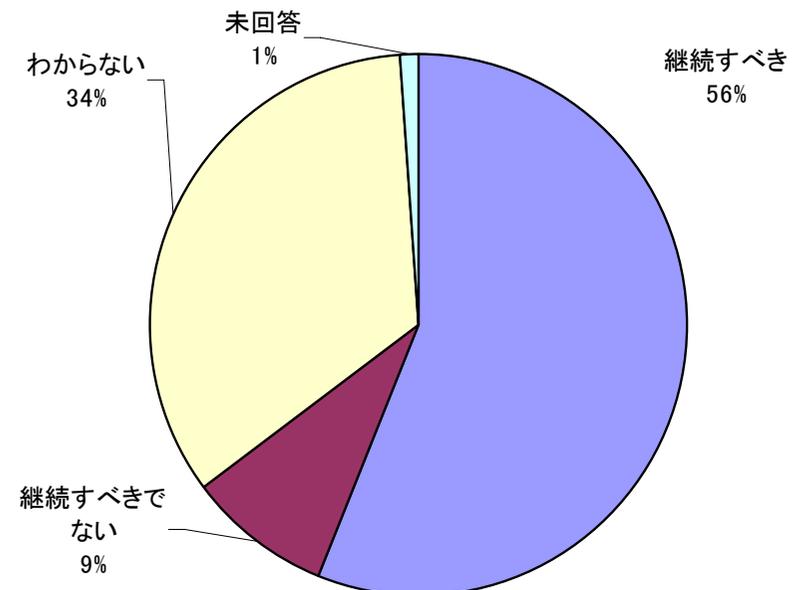
問17. ホコテン開催時、売り上げ増等につなげるため、どのような工夫をしていますか

- 入り口をオープンにできるだけ店内を見せる(1)
 - ワゴンセール(1)
 - 安価商品の販売(1)
 - 持ち帰りに手間のかからない商品販売(1)
 - 広場でイベント(1)
 - いつもと違う販売(1)
 - セールなど(1)
 - ホコテンに出店(1)
 - 一時的に早く開店(1)
 - 駐車場の1時間無料サービス(1)
 - イベント実施、トイレ開放(1)
- ※()は件数

問18. ホコテンは今後も継続すべきと考えますか

継続すべき	46
継続すべきではない	7
わからない	28
未回答	1

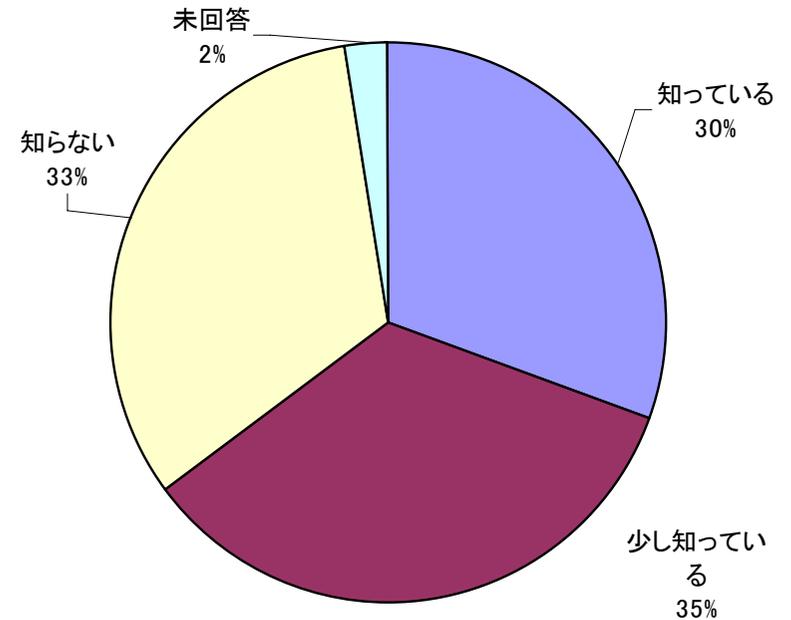
12、13の設問で「変わらない」の回答が多かったにもかかわらず、「継続すべき」が約6割を占めたことは、個店の売上げ増、来客増に直結しなくても「街に賑わいが創出される」ことが大事と考えている商業者が多いことの表れと分析できる。



**問19. 内閣総理大臣認定の中心市街地活性化基本計画
(以下、中活計画)についてご存知ですか**

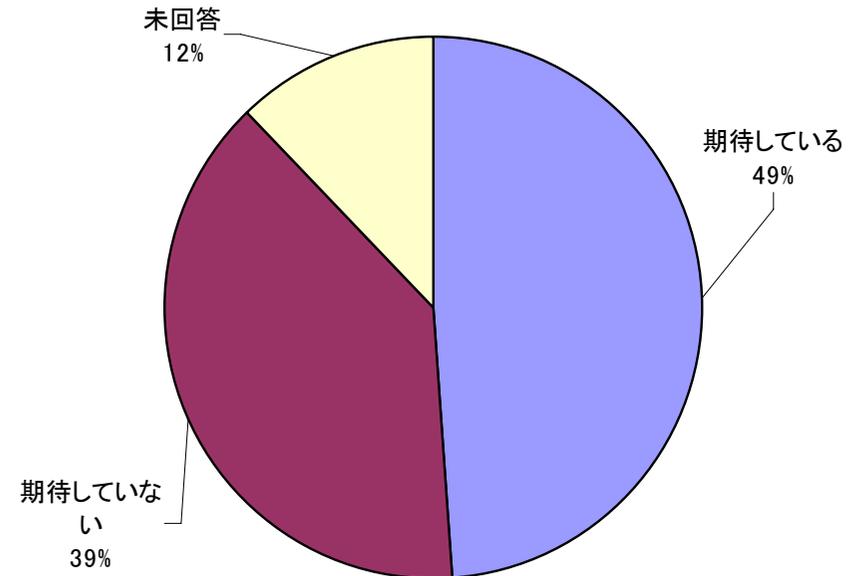
知っている	25
少しは知っている	28
知らない	27
未回答	2

「知っている」「少しは知っている」が65%にのぼり、中活計画の認知度は一定程度あるものと判断できる。
一方、中活計画の対象エリア内の商業者でありながら「知らない」が33%もいることは、十分な説明がなされていない証左ではないかと考える。



問20. 中活計画に期待していますか

期待している	40
期待していない	32
未回答	10



問21. 中活計画に「期待している」「期待していない」それぞれの理由をお書きください

<期待している>

- 中心部が気にかけている(1) ■中心部が騒がれているから(1) ■通行人の増加が急務(1)
- 大店舗しか残らない街は、街とはいえない。新しい形の商店街形成に国が応援してくれのは心強い(1)
- 帯広市の街の顔として活力のある街並みになってほしい(1) ■昔のように街の中心に人が集まり、滞留することを期待する(1)
- 中心街に活気を取り戻す一助になってほしい(2) ■中心部が良くなればどんなことでも良い(1)
- まちおこしはみんなでやるのもの。街のトップが動かなければ、誰も動かないので期待している(1)
- 中心街を活性化するのに、お金を使って何かするだろうから(1) ■他の都市の成功事例として参考になると思われるため(1)
- 中心街の空洞化を避けたいから(1) ■話題性と広小路リニューアル(年寄りの街のイメージ排除)(1)
- 第一に人が集まるホコテンを続けていくことが大事(1) ■空き店舗を活用する方法に期待(1) ■街が賑やかになる(2)
- 中心街の活性化なくして市の発展はないから(1) ■市民にアピールする前に、商業者自身が参加している自覚を持てる(1)
- 1ヶ所でも良くなれば少しずつ良くなるから(1) ■行動が何かを変える、その連続に期待(1) ■今より少しは変わるから(1)
- 各商店街が協力し合い、官にだけ頼るのではなく自らが汗をかき、足元を見つつ出ることから具体化すべき(1)

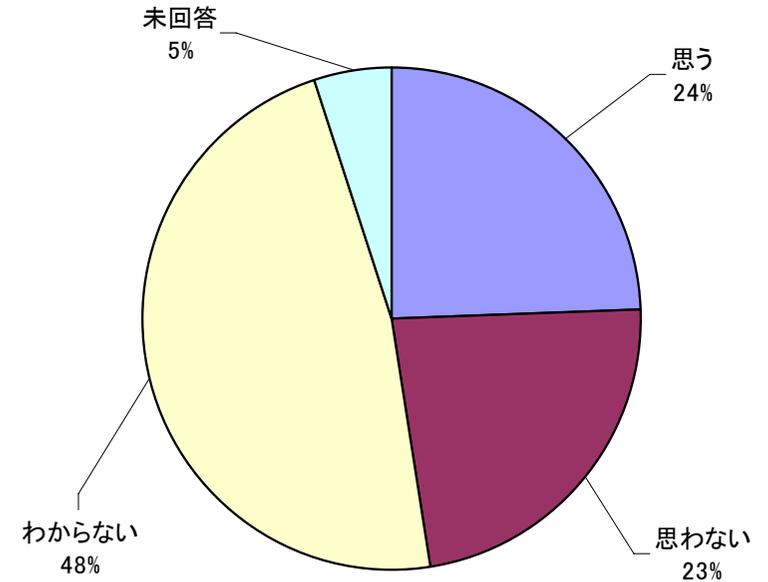
<期待していない>

- 国や道等の認定を受けた活性化計画は、実情破綻している。どこの最終的に夕張化するのでは(1)
- できる事ではなく、できない事を議論しているだけ(1) ■場当たりのコンセプトが希薄(1)
- 民意が反映されていながら(1) ■誰かにお金をもらっての活動はろくなものが無い(1) ■期待しても変化がない(1)
- 絵に描いたもちに終わりそう ■今まで色々な試みがあったが、あまり効果がなかった(1)
- 街中居住化とあるが、実際居住もしていないのうそで固めた内容だと何の意味もない(1)
- 広小路の交通規制は、今の車社会ではデメリットの方が大きい(1) ■ハード面の整備ばかりではなく、ソフト面が大切(1)
- 街を活性化させるには、まず主体が動かないとだめ。多くの人と話し合い、アイデアをもらい、実行していく運動こそ大事(1)
- 中心街衰退の理由は、古くから商売をしていて、もう売上げを必要としない人(地主とか)が居座り続けているのも大きいと思うそれをなんとかしなければ発展は期待できない(1)

※()は件数

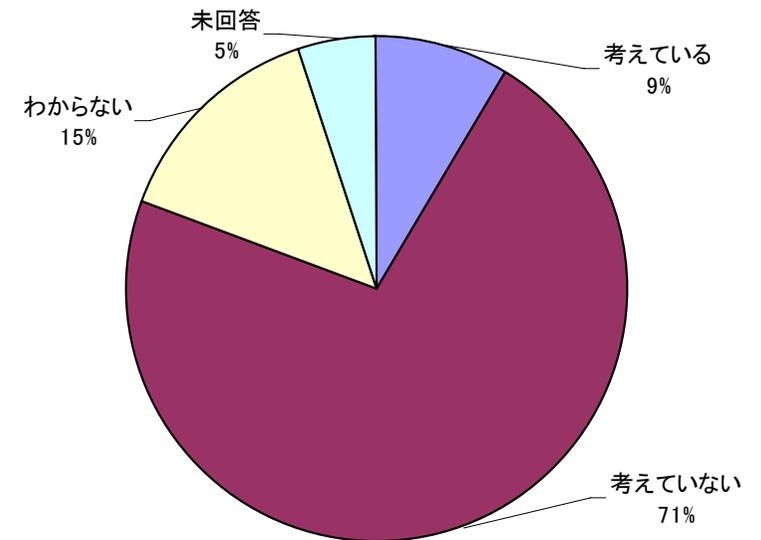
問22. 中活計画で中心市街地に賑わいを戻せると思いますか

思う	20
思わない	19
わからない	39
未回答	4



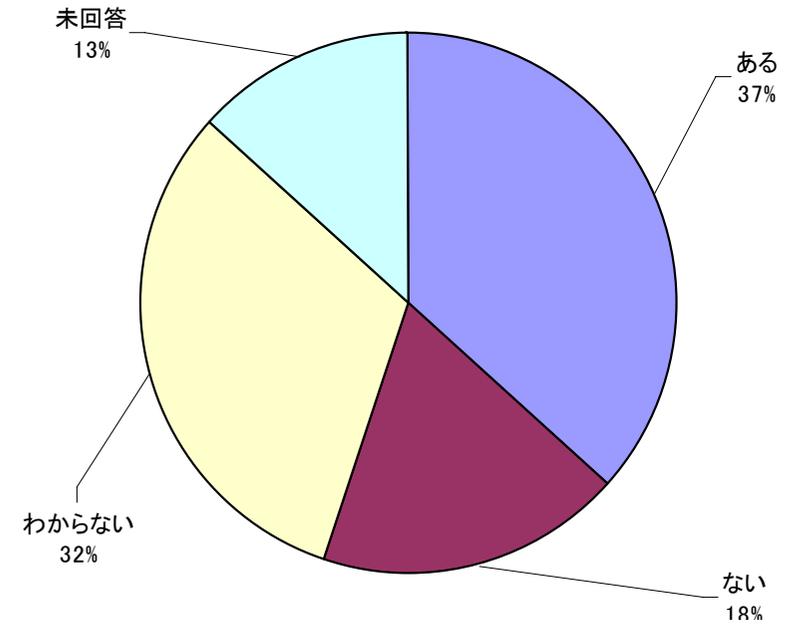
問23. 中活計画の実施に際し、店舗のリニューアル等考えていますか

考えている	7
考えていない	59
わからない	12
未回答	4



問24. 中活計画の実施に際し、行政に望むことはありますか

ある	30
ない	15
わからない	26
未回答	11



問25. 前問で「ある」と回答された方の具体的要望①

- 時間もかかり大変だが、強力なリーダーシップを発揮できる人を望む。
- 郊外店より初期投資(敷金など)が少なく、固定費(家賃など)を下げて利益がでる仕組みを作る。このことで若手ややる気とアイデアのある起業家が出てくるはず。大型店や中型量販店が中心街に出店したくなる条件づくりが必要。
- 中心街の駐車場を全て1~2時間の無料化を実現してほしい。固定資産税の大幅な減額も必要。
- 帯広・十勝圏への企業誘致、人口増加策を望む。
- 中心部の活性化は新たな街づくり、再構築により地域全体の活性化につなげてほしい。
- 無料駐車場(30分でいい)を多くすべき。
- ただひとつ、通行人の増加あるのみ、そのためにも多くのイベント開催を。
- もっと、もっと中心部のことを考えてほしい。
- 中心市街地の商店街を利用するかたのための無料駐車場を用意してくれたらもっと来やすくなる。
- 大型商業ビルの駐車場開放。
- 明確な目的をもって実施していただきたい。単なる税金の無駄使いはやめてほしい。
- 車の路上駐車が無料になれば良いと思う。
- 広小路全面車両乗り入れ禁止。カラス、はと等鳥類のフン対策、ハエ等の殺虫駆除。
- 郊外の整備も必要だが、中心街の商店のシャッターが軒並み閉まると市の顔すらなくなる。
- 西2条、西3条の路上パーキングメーターをぜひ考えてみてはどうでしょうか。
- 中心街にももう少し思い切って資金を導入してほしい。
- 設備費用について安い金利、または3~5年ステップ制度を行うことで投資金を生かせる。
- 安い建物および地代について検討してほしい。
- 税金を払っている割にメリットが少ない。やっと店をやっている中で税金だけは100%もっていかれる。もっと店の立場で考えて。
- 自発的な活性化を生むために、空きビルや空き店舗の住み替え(交代)を促さなければならない。そのためには、取得税や登記費用などの軽減をしなければならない。不動産の売買価格にあった公課をしてもらいたい。
- 効果を国に報告しなければならない中活事業に対して、行政は優先順位を重視し、逆効果になるような郊外開発には「ノー」といえるはっきりした態度をとってください。

⇒次ページに続く

問25. 前問で「ある」と回答された方の具体的要望②

■店がなければ人は集まらない、貸す側、借りる側が条件を良くするための根本になる税の負担を小さくすることで物事が進む。自分で店をやっていけなければ、できる人に貸す、それが進まない中心街はビル、店舗がなくなりゴーストタウン化する。駐車場があっても店がなければ人は集まらないし、市の税収も上がらない。行政が根本を考えて投資を考えていくことが必要、そして、1次、2次と進めていく。

■市の都市計画が中心市街地を活性化することになっているとはとても思えません。郊外に大型店舗ができることで活性化はありえないと思いますが、いかがでしょうか。

■少子高齢化がこれからも一層進むであろう。子どもやお年寄りが街中に安心して出てきて、楽しく過ごせるような施設や交通機関が必要ではないでしょうか。

■イベントよりも根本的な要因の解決に乗り出してほしい。

■机上で計画された内容の多くは、過去に実施された内容と大差なく、今の一般のライフスタイルにそぐわないと思う。昔の焼き直し策ではなく、新規に考案し、今までになかった帯広独自の形にしなければ誰も興味を持たないと思う。他のマネをしても意味がない。

■街中に人が出てこれる、子どもが参加できる企画を増やす。また、街中に出てこれるようにバスの運行、駐車場の無料開放する。人を呼べる芸人や大道芸人をよぶ。

■中活計画に従って商業者の負担が大きくなると、今までの長い間の苦しい状態では、リニューアル等お金を伴うことには前向きな具体案が出てこない。非常に暗い状態から脱出できるのか思案している。行政からのできるだけ大きな予算配分をお願いしたい。

■国民の税金を無駄に使用することがないようお願いします。

■シンボリックな多機能施設。

■中心街に無料の大型駐車場がほしい。

■中活計画は、地域経済の活性化やコンパクトシティの具体化のためのものと思うが、一方で規制緩和と称した大型店導入、郊外の宅地造成は互いに相反することをしているように思う。少子高齢化に向かい、人口減、交通機関の廃止・集約、地元卸業者の衰退・廃業による大手企業のみが競争しながら発展していくことが甚だしくなったと感じる。帯広市としての50年、100年先の基本計画を立て、一度、10万人前後を仮定して無駄を省くことから市民に汗をかいてもらう必要があると思う。

■この時代、会社としての経費負担はつらいものがある。組合の賦課金収入も滞る傾向もあるため、補助金の確保をしてほしい。

■中活計画の内容がはっきりわかりませんが、我店に来てくれるお客様の生活を見ていると、老後の人生をどう自立して生きていくか不安や心配を持つ老人が多くなると思います。その中で、地域の人や老人の癒しの場所として魅力ある、人情味ある商店街が求められていると思います。このところ、夜の飲食店が増え、昼間の商店街がどうなるのか不安を覚えます。

■イベントをやめ助成金ねだりもやめる。イベントに使う金があるなら、本当に生活に困っている人を救うことが当たり前ではないか。

以上、たいへん多くの貴重な意見をいただきました。これらは、商工会議所や帯広市にもフィードバックさせていただく予定です。

以上で「第2分科会」の活動報告を終了します。

ご清聴ありがとうございました。